

ひやく まん べん 百 万 遍

蛇が完成して引き上げられ、ケヤキに安置されても行事は終了ではありません。まず、集まった子供たちにはお菓子が配られます。それが終わったら蛇造りの後に残った藁屑を掃き集めて火をたき、これを囲んで「百万遍」が行なわれます。鉦が鳴らされ、十数人で7、8メートルの大きな数珠を「ワッショイ！」と掛け声をかけ合いながら力いっぱい引っ張りあい、3回繰り返してそれまでに数珠が切れれば豊作になると伝えられています。昭和10年代までは、数珠が切れると各家にいた奉公人は「お正月」と呼ばれる3日間の休みが与えられていました。



百万遍